ぜんせき
THE ZENSEKI

第7845号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円　組合員外 月1,944円（消費税込）

7月30日（月曜日）2018年（平成30年）

発行所
全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp
昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

論説

『満タン運動』究極の姿

2年目を迎える『満タン＆灯油プラス1缶運動』。今年も9月1日から全国展開することが決まった。灯油シーズンや地域的な事情などを考慮し、スタート時期については「全国各組合の意向を尊重する」という。運動を支える満タン＆灯油プラス1缶運動推進委員会も、今年度から全国各ブロックの代表から構成され、浜田忠博委員長のもと「全国津々浦々まで」とともに、「SS従業員と消費者へ深く認知される」ことを目指す。そのためのツールもノボリ、ポスターなど昨年度からの継続に加え、従業員につけてもらうPRバッジ、消費者の関心を呼び込む懸賞付きアンケートなど多彩だ。

満タン運動の意義を改めて言うまでもないが、2年目を迎えたことでみえてきたものもある。先般開かれた今年度初の委員会では「国民運動としての昇華」を推し進めるべきとの意見が出された。運動は単に災害時に備えた民間備蓄の必要性を勧めるものではない。燃料が飲料水や食料と同様に必需品であることを国民が認識し、自らが満タンを心がけるべきものだという。いま元売や関連業界、物流業界も含め実施している満タン運動は、燃料は国民一人ひとりの生命線であることを認識してもらうために行っていることを強調すべきとの主張だ。

東日本大震災では飲料水と同様に燃料を求める被災者の切実な声があり、熊本地震でも余震に苦しむ被災者は車中で寝泊まりを余儀なくされた。福井豪雪や西日本豪雨など災害が起こるたびに、SSに並ぶ車列があることをだれもが知っている。だからこそ「国民が当たり前のこととして満タンを心がける」「もう1缶の灯油を無意識に備える」ことが運動の究極の姿という意見は納得できる。浜田委員長もそのことを踏まえ「従業員と消費者が認知することが運動に欠かせない」と委員会で強調したのだろう。

もしSSで満タンを勧めた時「どうせガソリンを売りたいのだろう」というドライバーがいても、従業員の皆さんは決してめげないでほしい。満タンを心がけるドライバーが1人増えれば、それだけ災害への備えが進む。「満タンにしてください」と声かけをした皆さんにいずれ感謝する時が来る。2年目を迎えた『満タン＆灯油プラス1缶運動』はそのためのステップで、満タンが当たり前、灯油1缶の買い置きが無意識となる日を目指すためにある。

鹿児島・十島村

宝島給油所オープン

〝長年の夢〟燃料確保・購入安定

【十島村＝鹿児島】鹿児島県十島村の「宝島給油所」開所式が24日、現地で開かれ、肥後正司村長はじめ関係者、島民が集まり、長い間の夢だった給油所のオープンを祝った。給油所近くのコミュニティセンターで開所式が行われ、鹿児島県、日本離島センター、全石連、村議会関係者ら40人以上が出席した。

開設を祝ってテープカットする肥後村長（中央）と関係者

肥後村長は「これまで島民は直接ガソリンをドラム缶で購入していたが、数量が制限され、台風などで船が欠航することもあり供給が安定していなかった。また、それぞれの家庭でガソリンを保管しなくてはならないという不安もあり、給油所設置を各方面にお願いしてきた」と建設までの経過を説明しながら、「資源エネルギー庁の補助金によるモデルケースとして、給油所が完成した。日本離島センターや全石連にも支援していただき、関係者の皆様に改めて感謝する」と述べた。

来賓祝辞や祝電披露の後、給油所前でテープカット、記念撮影して完成を祝った。

給油所は面積約70平方㍍で、ポータブル給油機2基を備えており、ガソリンと軽油を販売する。これまでよりも価格は大幅に安くなるという。十島村には有人の7島、無人の5島があり、宝島は鹿児島市から約330㌔離れた有人島の南端。

兵庫油政連の中村会長3選

【神戸】兵庫県石油政治連盟は26日に通常総代会を開催した。

任期満了に伴う役員改選では、中村彰一郎会長（ナカムラ社長・JXTG系＝写真）を3選した。

長野

SS過疎地フォーラム

8月21日開催、県が本腰

【松本＝長野】長野石商・協（渡邉一正理事長）は24日、松本市内で理事会を開き、県から8月21日に「SS過疎地対策NAGANOフォーラム」を開催するとの案内があったことを明らかにした。県内では市町村内のSS数が3ヵ所以下の〝SS過疎地〟が増え、中山間地の生活維持や災害対策として燃料の安定供給体制の構築が課題となっていることから、県が本腰を入れて動き始めた格好だ。フォーラムは各自治体が地域の実情に応じて、主体的に石油製品の安定供給体制を検討していくのが狙い。

フォーラムの主催は県、県市長会、県町村会、同石商。県庁講堂で開催し、市町村担当者や県関係部局員、同石商の組合員らが参加する予定。SS過疎地の現状や国内動向、これまでのSS過疎地対策などについて報告するほか、県内での取り組み紹介、参加者による意見交換なども実施する計画だ。

中核SS 住民拠点

地震防災対策強化で要望

向け供給「継続的に」

九都県市首脳会議

九都県市首脳会議（埼玉、千葉、東京、神奈川の4都県および横浜、川崎、千葉、さいたま、相模原の5市）はこのほど、地震防災対策等の充実強化を国に要望する10項目の提案書を公表、その中で「国家備蓄・民間備蓄の活用と災害時石油供給連携計画の適切な運用等による燃料供給体制の確保」「中核SS・住民拠点SS等に対する継続的な燃料供給」「災害対策上重要な施設へ継続的に燃料が供給されるよう、自治体との連携をさらに強化するなど体制を整備・運用すること」を求めた。関係機関にはすでに提出済み。

首都直下地震などの大規模災害が発生した場合、「燃料供給が確実に確保されないと首都圏が大きく混乱し、住民生活に支障を来すとともに復旧・復興の妨げになることが懸念される」との危機感を共有したもの。石油コンビナート地域の防災・減災対策を推進するため、消防法などの技術基準の妥当性を検証し必要に応じて見直すことや、災害時のエネルギー供給の観点から事業者が行う液状化対策や津波浸水対策等への支援継続・拡充なども盛り込んだ。

また帰宅困難者対策として、事業者が一時滞在施設に協力しやすくなるよう法改正を行い、発災時の損害賠償責任が事業者に及ばない制度の創設を早期に実現すること、受け入れた帰宅困難者のための3日分の食糧等備蓄に財政措置を講じることと、一時滞在施設の運用で事業者が負担した費用に対して災害救助法による支弁が受けられることの明確化、一時滞在施設に協力した事業者に対する法人税軽減などの税制措置を行うことなどを促した。

原油コスト0.8円上昇

今週の卸価格に影響する中東産原油の円建て週間コストは前週比0・8円高となり、3週ぶりに反発した。米エネルギー情報局の週報で原油在庫が予想以上に減少したほか、イエメンの武装勢力がサウジアラビアのタンカーを攻撃したことなどが買い材料になっている。直近27日の東商取プラッツ・ドバイ原油は㌦建てで前日比0・44㌦高の1㌭73・20㌦、円建ては0・5円高の51・2円となった。

国内ガソリン陸上スポットは系列仕切りが値下げする中、堅調を保っている状況。「自社の出荷枠をすでに消化した卸業者が多い」（商社筋）ほか、先高感が影響している模様だ。27日のTOCOMウインドウ・ガソリン陸上は前日比横ばいの119・8円。

◇　◇

特約店筋によると、コスモは27日からの週決め仕切りを前週比全油種1円値下げした。

週仕切り指標のコスト変動と推計値（＊原油＝価格適用期間のFOB平均値）　（円／L）

適用期間	原油	ガソリン			灯油			軽油			A重油
土～金曜		スポット	系列卸	TOCOM	スポット	系列卸	TOCOM	スポット	系列卸	TOCOM	スポット
7／1週	1.47	▲0.2	▲0.5	1.0	▲0.2	▲0.5	1.2	▲0.3	▲0.5	2.0	▲0.3
2週	0.96	1.2	2.0	▲0.2	1.2	2.0	0.0	1.1	2.0	1.5	1.1
3週	▲0.27	▲0.2	0.0	▲1.3	0.4	0.0	▲2.3	0.4	0.0	▲0.5	0.4
4週	▲1.95	▲1.6	▲1.0	1.7	▲0.9	▲1.0	0.3	▲0.6	▲1.0	▲0.9	▲0.6
前週実勢値	50.43	120.2	120.8	119.2	68.0	68.0	66.9	68.9	68.0	69.6	66.5
前週標準仕切り推計	---	---	123.8	---	---	71.0	---	---	71.0	---	---
8／1週	0.75	0.3	▲1.0	▲0.0	▲0.6	▲1.0	1.0	▲0.9	▲1.0	▲0.6	▲0.8
当週実勢値予測	51.18	120.5	119.8	119.2	67.4	67.0	67.9	68.1	67.0	69.0	65.7
最近値	51.92	120.8	119.8	119.2	67.1	67.0	67.9	67.8	67.0	69.0	65.7

宿泊旅行者数

横ばい見込む

JTB・夏休み

JTBが先ごろ公表した今夏（15日～8月末）の国内旅行動向見通し（6月前半調査、1200サンプル）によると、前年同期比で、宿泊を伴う旅行者数は横ばいの7460万人、1人1回あたり平均費用は1・2％減の3万4千円、総消費額は2兆5365億円と推計された。

働き方改革の推進や労働環境の見直しなどを背景に、「連続休暇取得への後押しが広がっていそう」と想定。ツアー予約状況によると、出発日のピークは8月11～15日。

利用交通機関（複数回答）は、乗用車が1・2ポイント（P）減少するものの65・4％と突出、次いで鉄道が1・0P減の24・7％、飛行機が0・9P増の14・2％、レンタカーは1・9P減の5・8％、長距離バス・貸切バスが3・3P減の4・4％などと続き、自動車合計では全体の4分の3を占めている。

お盆渋滞回数

中日本で増加

高速道路各社予測

高速道路各社などが25日発表したお盆期間（8月8～19日）の渋滞予測によると、10㌔以上の発生回数が全国で下り線226回（前年実績は232回）、上り線332回（316回）の合計558回（548回）と1・8％増を見込んだ。うち30㌔以上の大渋滞は下り13回（20回）、上り23回（21回）の合計36回（41回）。

会社別では、NEXCO東日本が下り49回・上り110回の計159回（161回）、中日本が下り98回（73回）・上り133回（116回）の計231回（189回）、西日本が下り78回（90回）・上り84回（90回）の計162回（191回）で、中日本の増加予測が目立つ。

渋滞の最多発予想日は下り11日、上り14日。また、休日割引は11～12日が適用されず、休日前の9～10日に適用される。

SS倒産19件は

4年ぶり高水準

帝国データ・上期

帝国データバンクが先ごろ発表した6月のSS倒産件数は4件、負債総額は6億5千万円だった。上期（1～6月）累計では19件、負債総額が39億2100万円となり、前年同期比で11件増、負債総額は6倍強に膨らんだ。

件数は14年上期（23件）以来4年ぶりの高水準で、危機感が高まっている。

2018年上期 SS倒産件数・負債総額

月	件数	負債総額（百万円）
1	2	1,200
2	2	570
3	5	536
4	1	700
5	5	265
6	4	650
計	19	3,921

関東経産局長

角野氏が着任

▽関東経済産業局長（福島相双復興推進機構専務理事兼事務局長）角野然生▽辞職（関東経済産業局長）後藤収（25日付）

期

「乗用」新車2.3％減販

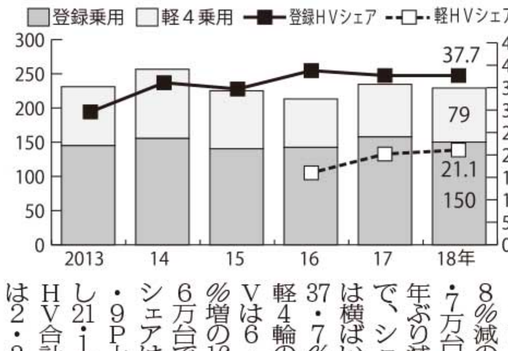
シェアは軽35％、HV32％

日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合が集計した上期（1～6月）の乗用車（新車）販売台数は、前年同期比で登録車が4・8％減の150・2万台（3年ぶり減）、軽4輪が2・8％増の79・0万台（2年連続増）、合計2・3％減の229・2万台（2年ぶり減）で、軽4輪比率は1・7ポイント上昇し34・5％となった。

そのうち、登録車のHVは4・8％減の56・7万台（3年ぶり減）で、シェアは横ばいの37・7％、軽4輪のHVは6・9％増の16・6万台で、シェアは0・9P上昇し21・1％、HV合計では2・3％減の73・3万台で、シェアは横ばいの32・0％だった。

また、登録車に占める外国メーカー車は0・5％増の15・1万台と、直近7年は毎年堅調に伸び続けており、シェアは0・6P上昇して10・1％（軽4輪を含めると0・2P上昇の6・6％）に達している。

パワートレーン別にみると、PHVは新型プリウス効果が大きかった前年の反動で約半減の1・2万台（3年ぶり減）、登録車EVは新型リーフの投入効果などから9割増の1・5万台（2年ぶり増）、FCVは約半減の260台にとどまった。一方、登録ガソリン車は6・2％減の81・2万台、ディーゼル車は13・9％増の9・3万台だった。



ポンプあいら・イど

▼「命にかかわる危険な暑さとなっています…」。これまであまり耳にしなかった〝命にかかわる〟との表現が連日、ニュースで流されるこの夏の暑さ。太平洋高気圧が強まったのと同時期にチベット高気圧も勢力を強めて襲来、このダブル高気圧に覆われ、各地で35度以上の猛暑日が続いている▼熱中症などで多くの人々が救急搬送され死者も相次いでいるのだから、命にかかわると警告するのも無理はない。戸外はなるべく避けこまめに水分・塩分補給、エアコンはためらわずに夜間でも付けっぱなしにとテレビは終日呼びかけるが、仕事人は冷房の効いた室内でジッとしているわけにはいかない。農作物の被害も甚大だ▼西日本豪雨の被災地で連日、行方不明者の捜索や復旧活動に懸命の自衛隊、警察、消防、被災者、ボランティアにも心を打たれる。同時に、炎天下で汗だくとなって働くSS従業員の姿が胸に焼き付く。そのまま触れれば火傷するほど熱い車でも笑顔で接客し、丁寧に窓を拭いたり給油や洗車をしたり▼コンクリートのSS敷地内は日中50度前後まで気温上昇するとか。真っ黒になって働く光景に「感謝、感謝です」と名古屋の経営者。この猛暑、あと1ヵ月ほどは収まらないようだ。天を仰いでの「言うまいと思えど今日の暑さかな」（作者不詳）はまだまだ続く。

きょうの紙面

2面　関東・猛暑で夏期商戦に弾み
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報、CIF価格
3面　関東版・神奈川・消防法緩和訴え／中部版・石川・吉岡執行部始動
4面　webアンケート／現物市場・6月

株式会社富永製作所　〒604-8493 京都市中京区西ノ京南両町88　営業本部 ☎(075)801-8139代表 FAX(075)801-1373
仙台営業所 ☎(022)287-9311 FAX(022)287-9312　東京支店 ☎(03)3484-5051 FAX(03)3484-3944
名古屋支店 ☎(052)414-1181 FAX(052)414-1180　関西支店 ☎(0774)41-3443 FAX(0774)41-3444
広島支店 ☎(082)283-2428 FAX(082)283-2606　高松支店 ☎(087)843-7130 FAX(087)843-9139
福岡支店 ☎(092)651-3168 FAX(092)651-3118　事業所・代理店／全国主要39都市

猛暑　夏期商戦に弾みつく

関東

需要好調、昨夏の1.5倍も

関東地方は記録的な猛暑が続き、ガソリン需要が急速に伸びている。SSからは「昨夏との比較で1・5倍以上の売上げ」との声も聞かれ、旧盆商戦を前に需要拡大が続くことに期待感は高まっている。

昨夏も7月中は高温が続き需要は伸びた関東石油製品市場。今夏はそれを上回る需要増を感じるSSが多いようだ。千葉県の地場業者は「日中は人通りは少ないが、車の交通量は非常に多い。需要は伸びている。エアコン需要が伸びていることが大きい。従業員は大変だが忙しい」と話す。

需要全体を押し上げた要因が「危険性の伴う酷暑」ということで、表立って嬉しさを口にすることを控える傾向はあるが、これまで原油高騰などで需要への影響が気になっていた業者にとって、追い風になっていることは間違いないようだ。

市場ではガソリン価格の値動きも一服感が現れ、全体的には安定傾向も見られる。ガソリン価格はセルフSSで145円を底値に150円台まで、観光地も安定した市場動向で推移していることが確認されている。最需要期の旧盆期間には「昨年は台風が多く、天候不順で需要が伸びなかった。今年は後半戦に弾みのつく夏にしたい」という業者が多い。

近畿へPB参入続々

大阪で建設作業急ピッチ

【大阪】近畿地区でこの5月に滋賀県と大阪府で複数の広域PB業者によるSS新設計画が相次いで浮上していた問題で（既報）、滋賀では更地の段階にとどまっている一方、大阪では夏場とみられる開店に向けて着々と建設が進んでいる。レギュラー150円台で推移する中、周辺の地場業者からは過当競争の勃発を警戒する声が上がっている。

滋賀県大津市のPBSS建設計画は、カーディーラーの店舗跡地だが、現在も更地のまま。県内の特約店社長は「建設業者との折り合いがついていないのかも。ただ、工事が始まればあっという間に開店するだろう」と推測する。一方、大阪府池田市内で進むSS建設は5月1日から開始。6月中旬には施工業者の交代で一時期工事が中断していた模様だが、現在は急ピッチで建設が進む。23日時点ではまだキャノピー設置には至っておらず、周辺の特約店幹部は「開店した時に周辺を下回る価格を打ち出す可能性は強い」と警戒。建設場所は兵庫県境に近いことから、両府県の地場業者が関心を寄せる。

大阪府池田市内で建設が進むPBSS

海自舞鶴総監部と災害協定

平時からの受注機会増盛る

石川

平時も含めた燃料供給の協定書を交わす石川石協の吉岡理事長㊨と中尾総監

【金沢】石川石協（吉岡英一郎理事長）と海上自衛隊舞鶴地方総監部（中尾剛久総監・海将）との災害時協定調印式が24日、金沢市内で行われた。同総監部と組合との協定締結は京都、島根、富山に続き4番目。

調印式では吉岡理事長と中尾総監が災害時の協力関係だけでなく、「平素の態勢」として海自側が積極的に発注情報の提供を行い、組合側の受注機会の増大に努める―との条文もこれまでの3府県同様に盛り込まれた。中尾総監は「熊本地震で災害出動した経験から、災害時はもとより平時の訓練においても地元組合から迅速に艦船や車両等の燃料提供を受けていくことは極めて大事」と調印の意義を強調。吉岡理事長は「組合は災害に備え日ごろから取り組んでいる。我々のできることは海自に対し精一杯協力したい」と応えた。

同石協では、実際に活動を展開する舞鶴基地の艦船への給油について、設備が整っている七尾港とバージ船を利用できる金沢港で対応する予定。

「灯油まつり」へ力結集

元売経営統合効果に期待

長野

【松本＝長野】長野石商・協（渡邉一正理事長）は24日、松本市内で理事会を開き、今年度がファイナルステージ（3年目）となる「灯油まつり」について、10月20日～12月20日に実施すると報告した。

SS店頭にノボリ旗などを立ててPRし、組合員が結束して灯油販売の促進を狙い、灯油暖房機器などが当たる景品付き販促キャンペーンも行う。

このほか、国庫補助事業研修会のスケジュールを確認。「タイヤ空気充填研修」を松本市内で9月4日に開催、「災害時対応研修会・実地訓練」を長野市内で9月16日に実施し、実地訓練は同市内のSSで行う。

渡邉理事長（写真）はあいさつで、出光興産と昭和シェル石油が来春に経営統合することに触れ、「再編で業転玉が絞られることに期待する。元売仕切価格の上昇に対し、価格転嫁できる体制を構築して採算販売に取り組むことが重要であることをしっかり認識してほしい」と呼びかけた。また、イラン情勢の不透明感にも言及し「米トランプ政権がイラン産原油の輸入停止を各国に呼びかけていることに反発し、イランのロハニ大統領がホルムズ海峡を封鎖する可能性を示している。今後、原油価格がどうなるのか注視する必要がある」と述べた。

四国支部　労務環境の整備必要

【高知】全石連四国支部（天野博司支部長）は24日、高知市内で支部会を開催し、全石連各部会の活動報告などを行った。

天野支部長（写真）は冒頭、愛媛を中心に多大な被害が発生した豪雨の被災者にお見舞いを述べた。続いて、出光と昭シェルの統合について「業界がさらに大きく変わるのではないか」と指摘。また、人手不足問題に対し「運営の効率化が必要。営業時間の見直しなども行って現場の従業員をねぎらってほしい」と要請するとともに、「課題解決のためにも再投資可能な収益が獲得できるよう、一層の市場環境の改善が望まれる」と強調した。

一方、同会に先立ち全石連の浦辻敏夫経営相談室長が「経営相談事例・SS事業承継対策のポイント」をテーマに講演した。

東京　体調整え商戦臨もう

東京石商・協（矢島幹地理事長）は24日に定例理事会を開いたが、発券店値付けカード問題委員会の報告として、全石連経営部会における問題提起や具体的な検討状況、今月公表された元売ヒアリング結果で初めて取り上げられた発券店値付けカードの取扱状況と給油手数料の考え方を紹介し、全国と連携しながら引き続き改善運動に取り組むことを確認した。事業保安委員会は、新規事業として〝空調機器メンテナンスサービス〟を始めることなどを説明した。

意見交換では、埼玉県三郷市のコストコ新三郷店にSSを併設する工事が進んでおり、周辺の都内SSも同一商圏になると想定されることから、全国各地で問題視されている販売姿勢を懸念する声が上がった。

経営情報新燃料委員会は、元売ヒアリングについて「元売や系列SSは取引の一層の透明化・適正化を図りながら、互いに協力して再投資が行える環境を構築していくことが求められる」とエネ庁がまとめたことに言及。一方、消費者不信を招かないよう、都内でも散見される紛らわしい価格表示を改めていく必要性を訴えた。

あいさつで矢島理事長（写真）は「酷暑が続いているが、ガソリン業界にとっては追い風。現場従業員をはじめ健康管理に十分気配りしながら、夏場商戦に臨みたい」「出光と昭和シェルの経営統合も決まり、さらなる市場安定化が期待される」としつつ、持続可能な業界作りの重要性を強調した。

㊤＝合同「納涼船」に60人が参集、英気を養った。㊨＝松本（左）、木本両地区長

納涼懇親会で60人が交流

東京・都心支部2地区

東京石商都心支部の千代田中央地区（松本宏道地区長）と文京豊島地区（木本雅之地区長）は26日、合同地区会および屋形船での納涼懇親会を開き、来賓を含めて総勢約60人が参集、交流を深めた。

屋形船は夜7時前、晴海に近い運河を出航してスカイツリー付近まで隅田川を北上、折り返してお台場に停泊し、その間、江戸前の天ぷらを食べながらカラオケで盛り上がり、船窓・船上からの夜景や夜風で英気を養った。

冒頭あいさつで木本地区長は「大いに楽しんで」と呼びかけ、松本地区長は「少し和らいだが、酷暑が続いた中で今回も大勢の皆様にご参加いただくことができた」と謝意を述べた。

また、来賓として参加した都心支部の橋本毅一支部長が乾杯の音頭を取り、旧・千代田中央支部時代から続く納涼船が支部員相互の良好な関係につながっていると総括した。

兵庫　消費増税備え勉強会

【神戸】兵庫石商・協（内芝知憲理事長）は26日、神戸市内で常任理事会を開き、2期目を迎えた内芝体制が本格始動した。

会合では、新副理事長の辻田雄一氏（阪神米油社長・JXTG系）や久下勝成氏（大英石油社長・昭シェル系）など新役員を紹介。また、会議や議事の年間計画を発表したほか、『満タン＆灯油プラス1缶運動』への協力を呼びかけた。

内芝理事長（写真）は「平成30年7月豪雨」で被害を受けたSSを慰労するとともに、「県内でも被災したSSがあったが、人的被害がなく不幸中の幸いだった」と述べ、「水害が終わると酷暑が続いており、体温を上回っている気温なので、SSで働く従業員の健康に配慮する必要がある」と強調。また、来年から消費税の税率が10％に引き上げられることを受け、独自に勉強会を開催する考えを示した。

広島　豪雨復興支援全力で

【広島】広島石商・協（大野徹理事長）は23日、石油会館で理事会を開催し、今期の役割分担などを決めた。また「平成30年7月豪雨」による県内SSの被害状況、情報収集のあり方や配送面での課題など、今回の気付きや対応策などが報告された。

大野理事長（写真）は被災者にお見舞いの言葉を述べ、「ともに戦い、1日も早い復旧を目指すためにも組合活動を停滞させてはならない。皆で元気を出して被災地の復興を支えていきたい」と強調。また「今回の豪雨で、我々の仕事は大きな社会的責任を担っているということを多く学んだ。自社では被災直後は限定給油を実施したが、解除後お客様に〝満タンにしましょうか〟と尋ねた際、〝ありがとう〟と言われた一言が忘れられない。平時は当たり前の満タン給油が、非常時にはどれほどの勇気をお客様に与えるのかを学んだ」と述べ、「いまこそ『満タン＆灯油プラス1缶運動』のPRを積極化実施し、SSの社会的責任を果たしていきたい」とあいさつした。

森会長を再任

全国コスモ会

全国コスモ連合会は26日、2018年度総会を開催し、任期満了に伴う役員改選で、森洋会長（東京コスモ会会長）を再任した。副会長には岡部憲治氏（中国コスモ会会長）、遠藤靖彦氏（東北コスモ会会長）がそれぞれ再任された。

また、会計監事には土屋富久夫氏（東京コスモ会副会長）、板倉昌三氏（近畿コスモ会会長）がそれぞれ再任された。

元売・商社決算出揃う

元売各社やエネルギー関係商社、ホームセンターなどの決算発表予定日（2018年度第1四半期、18年第2四半期、18年6月期第4四半期）が出揃った。

昨年4～6月は原油価格が〝40～50ドル台〟、為替が109～114円で推移していたのに対し、今年同期は原油が60～70ドル台、為替が107～111円程度。元売各社は在庫評価益の発生が予測されるうえ、需給環境の改善に伴う増益も見込まれる。一方、商社は需給情勢やスポット市場への対応、非資源関係事業の強化策に注目が集まりそうだ。

決算発表日（予定）一覧

社名	発表日
元売	
JXTGHD	8月8日
出光	8月14日
コスモエネルギーHD	8月9日
昭シェル	8月9日
商社・特約店	
伊藤忠エネクス	7月31日
三愛石油	8月8日
カメイ	8月9日
ミツウロコGHD	8月9日
シナネンHD	7月31日
三谷商事	8月9日
阪和興業	8月9日
三重交通G.HD	8月8日
日新商事	8月8日
ホームセンター・その他	
コメリ	7月31日
ジョイフル本田	8月3日
ダイフク	8月8日

ESG投資指数の構成銘柄に選定

JXTGHD

JXTGホールディングスは先ごろ、環境・社会・ガバナンスの3分野から企業の持続可能性を評価するESG投資インデックス「FTSE4Good Index Series」および「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定されたと発表した。ESG情報を重視する投資家の主要な投資選択基準の1つとなる。

DATAコーナー

■石油先物市場・7／27

△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：¥／KL

東京商品取引所（京浜海上：1枚＝50KL）

16：30現在	前日比	限月	16：30現在	前日比
		ガソリン		
（前日出来高1,142枚）			（前日出来高-枚）	
65,360	Δ410	⑨限月	63,000	0
64,500	Δ290	⑩限月	62,800	0
64,070	Δ310	⑪限月	62,400	0
63,790	Δ300	⑫限月	62,000	0
63,630	Δ360	①限月	62,000	0
63,600	Δ410	②限月	62,000	0
		灯油		
（前日出来高339枚）			（前日出来高-枚）	
67,880	Δ440	⑨限月	69,000	0
68,210	Δ440	⑩限月	68,000	0
68,480	Δ500	⑪限月	68,500	0
68,700	Δ560	⑫限月	68,000	0
68,730	Δ540	①限月	69,000	0
68,640	Δ470	②限月	69,000	0
		軽油		
（前日出来高-枚）				
69,000	0	⑨限月		
68,700	0	⑩限月		
68,400	0	⑪限月		
68,100	0	⑫限月		
67,800	0	①限月		
67,500	0	②限月		

中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20KL）

原油指標

			前日比
国内指標	$／B	73.51	(Δ0.65)
	¥／KL	51,838	(Δ642)
WTI	$／B	69.61	(Δ0.31)
	¥／KL	49,091	(Δ393)

■原油・石油製品輸出入CIF価格・6月（単位¥／KL）

	原油	揮発油	灯油	軽油	重油
輸入	52.73	51.01	89.95	63.87	54.76
前月比	Δ4.17	Δ3.50	Δ23.32	Δ1.10	Δ0.42
輸出	—	63.37	68.50	57.66	49.64
前月比	—	Δ11.29	Δ6.17	Δ1.48	Δ6.87

キュー太郎

浜坂高一朗

世界の三大ガソリン計量機メーカー
TATSUNO

関東

関東支局（千代田区永田町2-17-14 石油会館）03（3593）5757

消防法規制緩和求める〝生の声〟

給油監視をタブレットで　SS敷地利用もっと弾力的に

神奈川

神奈川石商（木所章理事長）は先ごろ全石連に、①IT活用による給油許可②全国統一の消防法運用③SS内での多様なビジネス展開に向けた新たな基準づくり④過疎地に限定した消防法上の特例措置の適用―の4項目を要望した（既報）。要望書には、組合員から上がった具体的な意見もまとめて付記しており、給油許可作業の効率化に向け、IoT（モノのインターネット）の活用を求めるなど、次世代を見据えた意見が目立った。

「給油許可のあり方」に関しては、「セルフの給油監視をタブレットでできるようにしてほしい」「危険物資格者が敷地内にいる場合、センサー認証による自動給油許可ができるようにしてほしい」「スマホサイズの移動式モバイル機器により給油が許可できるようにしてほしい」といった意見を掲載。成長の妨げとなっている人手不足への対応が課題であることを印象づけた。

消防法などの運用については「特定の管轄だけ、セルフSSの泡消火器の検査を要求されている」「各消防署の消防法の捉え方が、違う場合が多々ある。危険物査察担当者の個人的な感情による指導で指摘されたのか、不思議に思うことがある」などの声を記載している。法適用にばらつきが生じていることを疑問視し、改善を促している。

SSの多様なビジネス転換に向けた規制緩和に対する意見では、「（車両販売やレンタカー事業にも取り組めるよう）SS敷地の利用制限の緩和」「SS内（セールスルーム以外）の飲料自販機の設置」を求めている。

このほか、「SS敷地内を移動タンク貯蔵所（ミニローリー）の常置場所として認めてほしい」「SSの老朽化した家屋、床面、地下タンクなどの改修工事の費用が大き過ぎるため、今後の経営継続の難点となっている。1階建ての家屋を2階建てにし空いたスペースをうまく使いたいが、消防法上の観点から許可が下りない」「危険物施設の変更申請の費用を減額してほしい。現行で書類申請でも5万円程度。できれば2万円程度に」など現場の生の声を記している。

長野と新潟県が初合同路上調査

試料50本を採取

脱税目的の不正軽油の使用を取り締まろうと、長野と新潟の両県の税務職員がこのほど、新潟県上越市の国道18号沿いで通行中の大型トラックなどから軽油の抜き取り調査を実施した（写真）。両県が合同で行うのは初めて。

混和軽油などの流通が広域化しているため、不正撲滅へ両県がタッグを組んだ。計50本のサンプルを採取したが、混和の疑いのあるものはなかった。

長野石商・協の組合員や職員も、現場で不正軽油撲滅を訴えるチラシを配り協力した。

高く、新たなビジネスモデルが生まれる可能性は十分にある」などと持論を展開した。

意見交換後に真下部会長は「SSの果たすべき役割に使命感を抱くと同時に、次世代に向けて知恵を出し合うことの大切さを改めて実感した」と締めくくった。

千葉・SS応援セミナー　中古車販で勝ち残る！

「勝ち組SS応援セミナー」（ホームネットカーズ主催）がこのほど柏市内で開催され、千葉、東京、茨城の組合員を中心に約80人が参加し、ガソリン販売からカービジネスへの転換について講義を受けた。

第1部では、中古車販売で年間5200万円の粗利を上げているゼロワン・松岡隆志代表取締役を招き「ガソリンスタンドからカービジネスステーションへ～C・B・Sへの変革」と題した講演を実施。松岡社長は「10年前に同セミナーを受け、迷わず取り組んだからこそいまがある。迷ったらすぐに行動するべき」と主張。「最初こそ時間がかかるが、カービジネスは必ず大きな収益を生み、固定客の増加にもつながる」と述べ、収益性の高さを強調した。第2部では「無在庫販売の極意」をテーマに参加者を顧客に見立ててロールプレイング形式で商談を実演し、実際の画面を使ったやり取りなどを紹介。熱心にメモを取ったり動画を撮影する参加者も多く、関心の高さがうかがえた。

SSには未来と可能性

群馬石商青年部会　橋川教授と意見交換

群馬石商青年部会（真下竜介部会長）は先ごろ会合を開き（写真）、同日に開催された「石油セミナー・機器展示会」で講演した東京理科大学・橘川武郎教授とSSの未来像について意見交換を行った。

橘川教授はガソリン車の将来について問われると「需要減が問題視されているが、太陽光などの再生可能エネルギーも万能ではない。ガソリン車は絶対に残るし、最後に頼りになるのは〝最後の砦〟であるSSだ」と強調。また「SSは地域コミュニティの中心とはいえ、効率よく請け負える事業には限りがある」とする一方で「配送業界からのニーズが高く、新たなビジネスモデルが生まれる可能性は十分にある」などと持論を展開した。

クレカーC化対応聞く

静岡石商田方支部　今年度初の役員研修

静岡石商田方支部（増井達也支部長）はこのほど伊豆の国市内で今年度初となる役員研修会を開催（写真）、増井支部長が「クレジット決済端末のIC対応について」と題して講演を行った。

また支部内で新たに発足した汚泥処理協力会について、石渡延人前支部長・杉山真也副支部長が同日に見分を実施、適切な中間処理が行われていたことを確認した。

石渡前支部長は「大きな事故が起きていないので、全国的にはまだ関心が高くないのが現状。この取り組みが定着するとともに、支部内のコスト削減につながれば」と述べた。

中部

中部支局（名古屋市中区正木3-2-70 愛知県石油会館）052（321）6001

第2期吉岡執行部が始動

県防災訓練に参加へ

石川

石川石商・協（吉岡英一郎理事長）は、通常総会後、初めての役員会をこのほど開き、各委員会の委員を選任。新体制を整えて吉岡理事長の2期目を本格スタートさせた。空席だった理事長職務代行者（筆頭副理事長）には吉原慎吾副理事長（三島石油社長・JXTG系）を選出した。

吉岡理事長（写真）は冒頭、「西日本豪雨は広範囲にわたって大変な被害を出しており、被災者はもとより営業再開の見通しが立たない同業の仲間たちに心からお見舞いを申し上げたい。本県も2月の豪雪被害で様々な問題が浮上したが、災害時にどのように対処していったらいいのか、緊急時の情報集約化などを一層進めていきたい」とあいさつ。「災害時に力を発揮する『満タン運動』に今年度も引き続き力を入れていく」とした。

そのうえで、コストコ問題について「愛知、岐阜、富山を中心に被害を受けている各地の組合が不当廉売の実態を何十回も訴えているが、公取委は違法性を認めていない。コストコはお役所のお墨付きを得たと言わんばかりにやりたい放題の激安販売を続けている。コストコSS1店で我々の仲間が次々と消えていく深刻な問題に直面している」と強調した。

会議では9月2日に県中部の宝達志水町で実施される「県総合防災訓練」に組合として自家発電機による緊急車両への給油やローリーでの給油作業などで参加することや、海上自衛隊舞鶴地方総監部との災害時協定を石川石協として富山石協に続いて締結すること（24日）などを承認。また、豪雪対応で県危機管理室危機対策課と来シーズンに向け具体的な協議に入っていることも事務局から報告された。

＜各委員会委員長（敬称略）＞

▽総務＝吉原慎吾▽制裁・不服審査＝吉原慎吾▽金融＝山下公介▽共同受注＝中西義浩▽広報＝中市隆幸▽構造改善推進＝野村幸宏▽経営＝山上公介

＜各部会部会長（敬称略）＞

▽農林漁業部会＝中西義浩▽研修部会＝中市隆幸▽災害協定部会＝本村幸宏

三重・亀井理事長松阪支部講演

人口減も視野入れて

三重石商・協の亀井喜久雄理事長は先ごろ開かれた松阪支部（小津邦義支部長）の総会に出席。業界の現状や地域SSとして生きていくための気構えなどについて講演した。

亀井理事長（写真）は、まず各地で不当な安売りと指摘されているコストコSSについて、「全石連として1丁目1番地の問題として取り組んでいる」ことを強調。そのうえで、会員制の背景や計量機8基で量販を続ける各店舗の状況、新名神高速IC沿線や伊勢道・久居IC近隣など、噂も含めた三重県下への進出計画について説明。「早晩、コストコは三重にも進出してくるだろう」と述べた。

一方、2045年までの県内4市の世代別人口推移表をもとに、松阪市の人口動態について触れ、「15年比で人口が約3万6500人減の約12万7千人にまで落ち込む。この減少の大部分が0歳～14歳の年少者と15歳から64歳までの生産年齢者。逆に75歳以上の後期高齢者は6200人も増加し約3万人に達する」など、東京など大都市圏に集中し地方の人口減が顕著になっていくことを指摘。

そのうえで、「全国的にガソリンの需要は低燃費車やEV普及で減少していくが、それは大都市圏を含めた平均減少率であり、人口減の著しい超高齢化社会の地方市町の需要は、さらに厳しい見通しであることを認識しなければならない」とした。

得意分野で店守ろう

三重石商松阪支部　小津支部長を再選

三重石商・協の松阪支部（小津邦義支部長）は通常総会をこのほど松阪市内で開き、小津支部長（小貞石油社長・JXTG系）の続投など人事案や事業案件、収支予算などを承認した。

小津支部長（写真）は、組合員の協力に感謝の意を表した後「元売再編が続く中で、我々の現場は体力を超える業務に奮闘している。1円はSS生死の分岐点。自社の経営を守るため、量にこだわるのではなく、適正な利益をきちんと得るために、接客など『これだけは絶対、他店に負けない』という得意分野で店を守っていく、そうした競争が大事ではないか」と呼びかけた。

同石商の藤本昇専務理事は国の補助事業や全石連経営相談室の活用、共同購買事業の商品やSS求人ドットコムの利用をはじめ組合としての活動状況などを詳しく説明した。

加藤副会長が講演

岐阜・役員研修会

岐阜石商・協（澤田栄理事長）の役員研修会が、全石連の加藤文彦副会長・専務理事を講師にこのほど開かれた（写真）。

出席した約30人の役員を前に加藤専務理事は「SS：地域コミュニティーインフラ～再投資可能な業界に～」をテーマにコストコ問題や未来投資戦略、事業承継など中央の動きを含め多岐にわたって解説した。

発券店カード手数料引き上げ

元売へ要望　三重

三重石商（亀井喜久雄理事長）は、発券店値付けカード給油代行手数料の引き上げを目指し、出光、昭和シェル、コスモなどの元売に対し組合幹部が手分けして要望書を渡した。

これは、亀井理事長がさる11日にJXTGエネルギーの大石和宏支店長に直接手渡した（既報）ことに続いての行動。

ひとこと

上村英俊氏（島石油販売1グループ課長・JXTG系）

組合と海上自衛隊舞鶴基地が災害協定締結後、初の燃料供給作業を担当、伏木港で給油したのは掃海艇「すがしま」。「組合受注、それも初の給油と聞き緊張しました」。艦船への給油は設備の整った港かバージ船を使うのが原則。バージ船を所有する組合員が石協にはいないため、岸壁でローリーから直接給油の方法がとられた。「1ヵ月以上前から消防署と折衝しようやく本番。無事大役を終えホッとしました」とさわやかな表情。（富山石協による自衛艦への初給油を担当して）

計量機買取

見積無料

全国どこでも出張買取

中古部品もお任せ下さい。

ガソリンスタンドの廃業や計量機の入れ替えで不要になった計量機は、是非当社へお売りください。無料でお見積りいたしますので、お気軽にお問い合わせください。

買取対象製品

・固定式計量機　・ノンスペース計量機
・ポータブル計量機　・ミニローリー
・釣銭機　・カードリーダー
・コンプレッサー　・バキュームクリーナー　他

計量機の中古部品を取り扱っております。古い計量機の部品が手に入らずお困りの際は、部品の不足で計量機を買い替える前に、是非当社へご相談ください。

取扱中古部品

・ノズル　・スイベル　・安全弁
・ディスプレイ　・ポンプ　・基盤
・モーター
その他様々な中古部品を取り扱っております

日本スタンドサービスは計量機や部品のエコリユース活動により、お客様の給油所運営に貢献いたします。

当社は、計量機検定／修理・地下タンク漏えい検査・地下タンク老朽化対策工事・各種施工等、充実のサービスで給油所運営をサポートいたします。

無料お見積り・お問い合わせは 0120-016-889

◆ホームページ　http://www.nssk.co.jp/
◆楽天市場店　http://www.rakuten.co.jp/auc-nssk/
日本スタンドサービス　検索

◆自社計量機販売　◆給油機器販売　◆計量機検定　◆計量機修理
◆中古計量機買取・販売　◆中古部品販売　◆地下タンク漏えい検査
◆移動タンク漏えい検査　◆高精度油面計　◆電気防食システム工事
◆給油所新設工事　◆給油所廃止工事　他　お気軽にご相談ください。

日本スタンドサービス株式会社
大阪本社　〒578-0911 大阪府東大阪市中新開2丁目11-17　TEL.072-968-2211　FAX.072-968-3900
東京営業所　〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2丁目21-6　TEL.03-5721-4789　FAX.03-5721-4787

webアンケート　ZENSEKI

7月テーマ 油外収益について

「ぜんせきweb」読者アンケート・7月テーマ「油外収益について」の結果によると、SSの油外収益の柱については、「洗車機洗車・コーティング」（46％）と「手洗い洗車・コーティング」（12％）を合わせると6割が洗車関連で占められ、SSにとって洗車が油外の中心となっている実態を改めて浮き彫りにした。一方で、SSが油外に取り組む際の最大のネックは43％が「人手不足」と回答し、人手不足の深刻さを物語る結果となった。

まず、「油外収益の確保に取り組んでいるか」との基本的な問いには、「積極的に取り組んでいるつもりだが、それほど大きな収益にはつながっていない」が46％で、「積極的に取り組んでおり、SSの収益の柱となっている」の34％を上回り組めていない」も15％を占めた。「燃料油販売が中心で、油外に取り組みたいが、人手不足のため十分には取り組めない」が2％にとどまり、油外が燃料油販売と並ぶSS経営の柱と位置付けられている現状が明らかになった。

現在の油外の柱については、「洗車機洗車・コーティング」が46％と半数近くを占め、「手洗い洗車・コーティング」の12％を含わせると洗車関連で6割を占めた。以下、「車検」と「TBA販売」が各9％、「併設店舗（LPガス）」が8％と続き、SSにとって洗車が、いかに油外の重要な位置を占めているかを裏付けた。

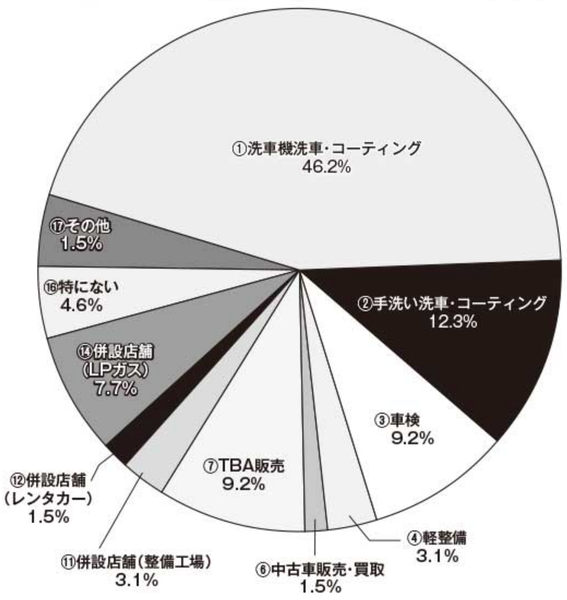
また、油外収益の月額（1SS平均）を聞いたところ、「50～100万円」が34％で最多を占め、以下、「100～200万円」の32％、「50万円未満」の17％、「200万円以上」の14％などと続き、100万円を境に油外の実績が上下に二分されている実態がうかがえる。

これに対して、いま取り組んでおらず今後取り組んでみたい油外については、「中古車販売・買取」が17％、「カーリース」が14％と、いま注目されている車関連ビジネスが1位、2位を占める一方、3位以下は「軽整備」が9％、「車検」と「手洗い洗車・コーティング」が8％、「TBA販売」が7％、「保険」が5％など、全般に回答がバラつく形となった。

最後に「SSが油外に積極的に取り組もうとする際の最大のネックはなにか」聞いたところ、「人手不足」が43％で断トツの1位となった。2位は「ガソリン需要の落ち込み（来店客数の減少）」で17％、3位は「車体にかかわる技術の高度化」で15％、4位は「消防法による規制」で11％などとなった。

「車体にかかわる技術の高度化」が3位に入ったことは、SS業界の危機感の表れとも いえる。

SS店頭の油外収益の柱となっているものをひとつ



洗車関連が現在の柱

今後の取組み

車関連ビジネスに注目

6月業況

G、油外とも大幅良化

卸平均は126・2円と横ばい

業況・卸価格アンケート結果によると、回答者の属性は、旧JX48％、出光9％、昭和シェル17％、コスモ11％、旧東燃ゼネラル8％、その他7％。2者49％、3者46％、その他5％だった。

6月のガソリン販売量は、前年比で「伸びた」23％（前月4％）、「大幅に伸びた」3％（3％）で合計で前月より一気に19ポイントも増加。「落ちた」31％（32％）、「大幅に落ちた」2％（8％）でこちらは合計7ポイントも減少と、やや陰りが見えた5月とは一変して、一気に良化に転じた。

一方の油外は、「伸びた」19％（前月11％）、「大幅に伸びた」0％（1％）で、合計で前月より一気に13ポイントも減少と、大きく悪化した5月から一転、大幅良化となった。

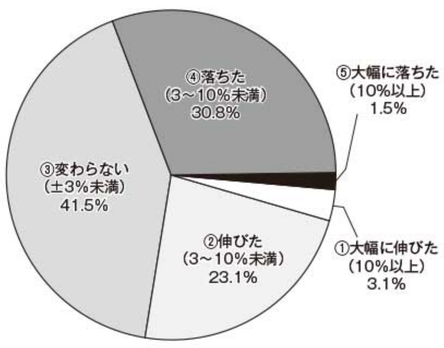
卸価格・業転価格調査のうち、業転価格調査への回答数は卸価格調査への回答数の63％で、こちらは合計で一気に増加した。

6月1ヵ月平均のレギュラーガソリン卸価格（1㌔㍑、系列仕切り、消費税抜き）は、最高135・0円（前月145・0円）、最低115・0円（122・0円）、平均価格は126・2円（126・2円）で、前月と同額だった。

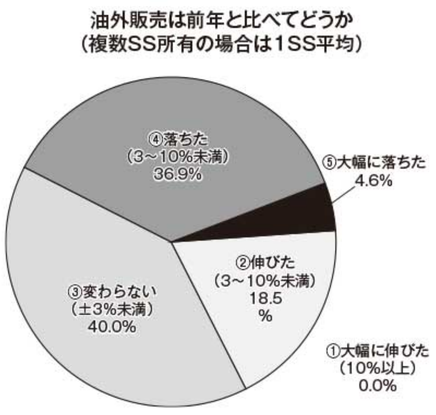
一方、6月20日時点でSSが購入、もしくは売り込みがあったガソリン業転価格（1㌔㍑、消費税抜き）は、最高127・0円（133・0円）、最低116・8円（118・2円）、平均価格は122・9円（122・9円）で、仕切価格と同様、前月と同額となった。

業転は最高価格と最低価格の差が縮小するとともに、仕切価格との差も縮小する方向にある。

ガソリン販売量は前年と比べてどうか（複数SS所有の場合は1SS平均）



油外販売は前年と比べてどうか（複数SS所有の場合は1SS平均）



OIL SPOT Market　ZENSEKI

TOCOMウインドウ6月陸上121・9円

石油業界にとって透明性が高く、かつ公平・公正な卸価格指標の確立は悲願である。そうした中、東京商品取引所は昨年、公設・石油スポット市場TOCOMウインドウを開設した。さらに今年1月からは同ウインドウに『スタンダード2次基地（油槽所）陸上取引』を追加して取引の活性化を促進している。同ウインドウ、JOXなどスポット市場の6月実績などを紹介する。

陸上取引では福岡小倉が最多

TOCOMウインドウ6月実績

6月の成約状況は合計成約数量が3880㌔㍑（前月比1790㌔㍑減）、成約件数は55件（1件減）だった。成約数量は減少したものの、成約件数は前月からほぼ横ばいを維持した。全体の注文状況については計2万2710㌔㍑、614件となり、注文件数は増加傾向を見せた。

陸上取引では福岡県の小倉における成約数量が最も多く890㌔㍑、件数は15件だった。前月において最も成約数量の多かった清水でも成約数量800㌔㍑、成約件数9件が決まっており、小倉に次いで第2位の盛況ぶりだった。

また、地域別成約では東北地方での取引が活発になっており、青森県八戸で成約数量190㌔㍑、成約件数4件、宮城県塩釜で成約数量120㌔㍑、成約件数3件、累積すると成約数量は計310㌔㍑、7件の成約となった。

海・陸別の成約では、海上は成約数量1千㌔㍑（ガソリンなし、灯油1千㌔㍑）、成約件数5件（ガソリンなし、灯油5件）となった一方で、陸上は成約数量2880㌔㍑（ガソリン2380㌔㍑、灯油150㌔㍑、未課税軽油350㌔㍑）となった。

TOCOMウインドウの6月平均価格は、陸上ガソリンが前月比0・7円高の121・9円、海上ガソリンは前月比1・1円高の119・2円となった。

JOXの6月実績は、成約数量が全油種累計で前月比1万5064㌔㍑減、前年比4万5216㌔㍑減の2万8524㌔㍑となった。主力のガソリン海上・京浜は前月比800㌔㍑増、前年比100㌔㍑減の1万4200㌔㍑だった。また、JOXのガソリン京浜・6月平均価格は前月比0・9円安の122・4円。

ガソリン陸上121・9円に

スワップ6月限

東京商品取引所はこのほど、先物市場・石油スワップ取引の6月限・最終決済価格を明らかにした。

それによると、TOCOMウインドウで決まるガソリンはバージが6万5350円（㌔㍑換算：前月比1・1円安、ガソリン税込119・2円）、ローリーが6万8130円（0・7円高、121・9円）となった。

一方、価格評価機関プラッツが決める灯油はバージ6万6820円（0・9円高、66・8円）、ローリー6万7400円（0・6円高、67・4円）、軽油はバージ6万8790円（0・5円高、軽油引取税込み100・9円）、ローリー6万8750円（1・0円高、100・9円）となった。

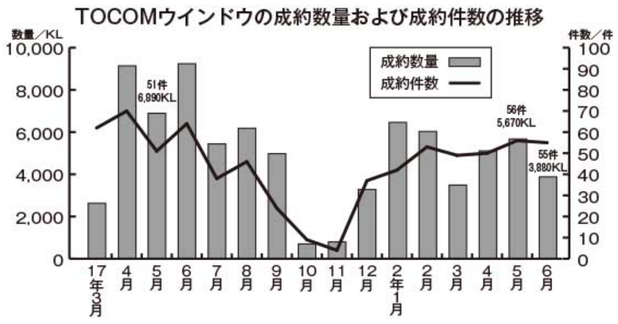
TOCOMウインドウ価格　系列仕切り換算（ブランド料3円＋運賃1.5円の場合）　126.4

	陸上4製油所平均						海上京浜				
	ガソリン	G税込	灯油	未課税軽油	A重油	LSA重油	ガソリン	G税込	灯油	A重油	LSA重油
2月平均	60,970	114.8	64,380	61,240	59,150	59,650	65,470	119.3	71,890	60,780	61,180
3月平均	57,760	111.6	63,030	59,100	57,300	57,800	61,480	115.3	63,990	58,250	58,420
4月平均	60,830	114.6	62,560	61,750	59,050	59,550	62,280	116.1	61,350	58,130	58,630
5月平均	67,410	121.2	66,310	66,880	64,710	65,210	66,450	120.3	65,890	63,210	63,710
6月平均	68,130	121.9	68,510	69,490	67,120	67,620	65,350	119.2	67,320	66,490	66,900

JOX取引実績

			月間総取引量（㌔㍑）	前月比	月間平均価格（㌔㍑/円）	前月比
6月	ガソリン	京浜	15,000	12,000	68.4	▲0.9
		阪神	6,000	3,000	69.5	0.2
	灯油	大西	400	▲11,000	-	-
	軽油	川崎	5,724	▲864	69.0	1.2
		阪神	1,400	-	70.5	-

TOCOMウインドウの成約数量および成約件数の推移



原油・石油スワップ取引　最終決済価格

	原油	ガソリン				灯油				軽油			
	ブラッドドバイ（㌔㍑）	バージ（㌔㍑）	G税込（㍑）	ローリー（㌔㍑）	G税込（㍑）	ブラッドバージ（㌔㍑）	（㍑）	ブラッドローリー（㌔㍑）	（㍑）	ブラッドバージ（㌔㍑）	軽油引取税込（㍑）	ブラッドローリー（㌔㍑）	軽油引取税込（㍑）
1月	46,150	64,220	118.0	61,860	115.7	66,070	66.1	64,110	64.1	62,730	94.8	61,640	93.7
2月	42,590	65,470	119.3	60,970	114.8	71,590	71.6	64,740	64.7	63,560	95.7	60,600	92.7
3月	41,850	61,480	115.3	57,760	111.6	65,400	65.4	62,390	62.4	62,100	94.2	59,220	91.3
4月	46,130	62,280	116.1	60,830	114.6	60,940	60.9	62,170	62.2	62,840	94.9	62,200	94.3
5月	51,360	66,450	120.3	67,410	121.2	65,960	66.0	66,790	66.8	68,330	100.4	67,700	99.8
6月	50,930	65,350	119.2	68,130	121.9	66,820	66.8	67,400	67.4	68,790	100.9	68,750	100.9
前月比	▲430	▲1,100	▲1.1	720	0.7	860	0.9	610	0.6	460	0.5	1,050	1.0

TOCOMウインドウ成約実績

成約日時	商品	場所	価格（㌔㍑）	価格（㍑）※ガソリン税込	数量 [kl]
陸上取引					
6月1日	【ノンスタンダード陸上】未課税軽油	清水	69,500	—	50
6月1日	【ノンスタンダード陸上】灯油	清水	69,000	—	50
6月1日	【ノンスタンダード陸上】灯油	清水	69,000	—	50
6月1日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	堺	68,500	122.3	40
6月1日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	aomori	68,900	122.7	20
6月1日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	八戸	68,700	122.5	40
6月1日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	青森	68,700	122.5	90
6月1日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	塩釜	68,400	122.2	50
6月4日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	塩釜	69,000	122.8	20
6月4日	【ノンスタンダード陸上】未課税軽油	清水	69,500	—	100
6月4日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	kokura	68,000	121.8	20
6月4日	【陸上】ガソリン横浜・川崎製油所	JXTG川崎/JXTG川崎キグナス	68,500	122.3	40
6月6日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	小倉	67,000	120.8	20
6月7日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	kokura	66,000	119.8	40
6月7日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	苫小牧	68,400	122.2	10
6月8日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	kokura	66,000	119.8	90
6月8日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	苫小牧	68,200	122.0	20
6月8日	【陸上】ガソリン横浜・川崎製油所	JXTG川崎/JXTG川崎キグナス	68,300	122.1	20
6月11日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	苫小牧	68,400	122.2	30
6月12日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	fukui	67,100	120.9	150
6月13日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	kokura	66,300	120.1	40
6月13日	【ノンスタンダード陸上】未課税軽油	清水	68,700	—	100
6月14日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	kokura	66,700	120.5	20
6月15日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	福井	67,100	120.9	100
6月15日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	fukuoka	66,200	120.0	100
6月15日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	kokura	66,200	120.0	200
6月15日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	kokura	66,100	119.9	150
6月19日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	小倉	66,100	119.9	30
6月19日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	塩釜	67,200	121.0	50
6月20日	【陸上】ガソリン横浜・川崎製油所	JXTG川崎/JXTG川崎キグナス	68,300	122.1	20
6月21日	【ノンスタンダード陸上】未課税軽油	清水	68,600	—	100
6月21日	【ノンスタンダード陸上】灯油	清水	68,200	—	50
6月21日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	kokura	66,100	119.9	20
6月21日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	青森	67,200	121.0	40
6月21日	【陸上】ガソリン横浜・川崎製油所	JXTG川崎/JXTG川崎キグナス	68,000	121.8	20
6月22日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	kokura	65,900	119.7	80
6月25日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	kokura	66,100	119.9	40
6月25日	【陸上】ガソリン横浜・川崎製油所	JXTG川崎/JXTG川崎キグナス	68,000	121.8	40
6月27日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	kokura	66,400	120.2	30
6月28日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	hukuoka	66,400	120.2	20
6月28日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	八代	66,900	120.7	60
6月28日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	小倉	67,200	121.0	30
6月29日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	清水	68,000	121.8	100
6月29日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	kokura	67,400	121.2	80
6月29日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	清水	68,000	121.8	200
6月29日	【陸上】ガソリン中京二次基地	豊通9号地	66,200	120.0	10
6月29日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	福井	67,200	121.0	50
6月29日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	sakai	67,200	121.0	40
6月29日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	福井	67,300	121.1	50
6月29日	【ノンスタンダード陸上】ガソリン	八代	67,400	121.2	60
海上取引					
6月12日	【海上】灯油京浜 (ref)		68,200	—	200
6月13日	【海上】灯油京浜 (ref)		68,200	—	200
6月15日	【海上】灯油京浜 (TOCOM 指定二次基地)		68,200	—	200
6月18日	【海上】灯油京浜 (ref)		67,500	—	200
6月19日	【海上】灯油京浜 (TOCOM 指定二次基地)		67,000	—	200